

アンケート調査集計表

方部名	市町村名	1 洪水・土砂災害ハザードマップ等防災計画の住民への周知(認知度向上)の徹底に関する取組	2 情報伝達手法の改善に関する取組
会津若松	会津若松市	<ul style="list-style-type: none"> 湯川・古川、宮川に係る洪水浸水想定区域の見直し等を反映したハザードマップ更新を実施(H31.1月)。今後、宮川の洪水浸水想定見直しの影響のある北会津地域全戸へ配布を予定しています。 出前講座の際や主に洪水浸水想定浸水深の深い地区や家屋倒壊等氾濫想定区域等を対象とした避難等に関する説明や自主防災組織化推進等に向けた取組みの中でハザードマップ等を活用しながら周知を図っていきます。 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設へのハザードマップ情報提供により、避難確保計画作成・避難訓練実施等の避難確保体制の推進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 市では情報発信を行う手段として、登録制の防災情報メール(あいべあ)や緊急速報メール(エリアメール)、ホームページ、ツイッター等のSNS、FMラジオ、市広報車、消防団による広報、アラート(災害情報共有システム)による放送局・アプリ事業者を通じた情報提供など、多様な伝達手段により情報伝達を行っています。 ヤフー株式会社との協定締結(H31年1月)により「Yahoo!防災速報アプリ」の自治体からの緊急速報を活用し災害情報の提供を行っています。 自主防災組織の設立支援を充実していきます。 タイムラインの見直しを行い、住民一人ひとりが取るべき避難行動の周知に努めます。
	会津坂下町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年3月の町広報紙において、防災に関する啓発記事を特集で紹介した。 風水害や地震等の自然災害に応じた各行政区の避難実施フローチャートを作成する。 宮川の基準水位の見直しに合わせ、避難勧告等の発令基準を見直し、地域防災計画、水防計画、避難行動計画を改訂する。 阿賀川・宮川の水害対応タイムラインを作成する。 洪水ハザードマップを改訂し、住民へ周知するとともに、自主防災組織の必要性についての理解を深め、組織の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 阿賀川・宮川の水害対応タイムラインを作成し、広報紙等により住民に周知する。 防災行政無線難聴箇所(緑町・上開津)の点検を行い難聴地域の解消を図る。 職員安否確認システムの構築を図る。
	湯川村	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度村で毎年開催している「村政座談会(6/1~7)」に併せて、説明を踏まえながら防災マップを全世帯(941世帯)に配布。 令和元年度特に予定なし。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度防災行政無線整備計画の検討。 令和元年度防災行政無線設置工事実施設計の発注。
	柳津町	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に土砂災害ハザードマップを作成し町内全戸に配布しているため、平成30年度、令和元年度は町広報紙等を利用しハザードマップの再確認等を呼びかけていく。また、新たな土砂災害警戒区域等が指定されれば、ハザードマップの改訂等を進めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度、令和元年度施工の防災行政無線(同報系・移動系)デジタル化改修工事により伝達手段の多様化を図っていく。具体的には防災行政無線屋外拡声子局・戸別受信機の他、スマートフォン等を利用した災害情報配信システムの構築を予定している。
	三島町	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度中にハザードマップに記載されている避難所等を地域防災計画と整合性が取れているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度末までに、防災行政無線のデジタル化への改修に伴い、携帯端末を活用した伝達手段の充実を図る。
	金山町	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年3月に防災マップの周知を目的とした広報(広報誌もしくはチラシ)を実施する予定。 令和元年6月に横田地区において防災マップを活用した町防災訓練を実施する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度末までに防災行政無線と連動する告知放送受信機を全戸に配備する予定。 令和元年6月に防災行政無線及び告知放送受信機を用いた町防災訓練を実施する予定。
	昭和村	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月に配布した昭和村防災マップの存在そのものの認識が徐々に薄れている可能性もあることから、令和元年6月までに村の広報紙等を利用し、住民への周知徹底を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線の個別受信機は全戸へ配備済みのことから、夜間における避難勧告、避難指示発令は高齢者世帯が多数ある村内においては、安全かつ速やかに避難行動ができるか否か判断に苦慮するケースがあるため、可能な限り早めに気象情報を収集し、極力夜間における発令を避け、昼間のうちに早めの発令判断ができるよう努める。
	会津美里町	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度中に新たなハザードマップを作成する。 平成31年4月に完成したハザードマップを全戸配布し、町ホームページに掲載し周知する。 出前講座の中で、浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の説明を行っており、引き続き実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 町からの緊急情報伝達手段について、出前講座で説明している。 登録制メールの周知を広報誌等で行う。